



社会福祉法人

釧路百葉福祉会 会報

2025年1月発行



謹んで新年のお慶びを申し上げます



昨年中は大変お世話になり誠にありがとうございました。

今後とも役職員一同努力してまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

「保育は福祉である」を基本に据え、一人一人の発達を保障し豊かに生きる権利を守ることを基本的視点として、どんぐりの家保育園は次のようなことを大切にしています。

○安心感の中で育ちあう:一人一人の思いを尊重し受け止める中で、自分が大切にされているという安心感が、人と関わるうえで最も大切な土台となります。

○からだづくり:一人一人の発達のみちすじを大切にしたいあそびを保障していきます。

○なかまづくり:みんなで一緒に楽しいことをたくさん経験する中で、友達と共感する心を培っています。

○豊かな生活体験:自然とたっぷり関わる中で、こどもたちから湧き出てくる なんだろ、おもしろいなあ、不思議だなあ、という好奇心を大切にします。

○食生活を豊かに:おいしく・たのしくを基本に、給食も保育の一環として位置づけ、こどもたちの食べたいという意欲を育てます。

○子育て支援:保護者の皆さんとこどもの成長を共に喜び合い、共に育ちあいながら一緒に子育てすることを大切にしています。

昨年末に後援会が開催され、私は子どもも親も共に育てられてもらったことを思い出します。

成長過程の基礎的土台を深めつつ意義を踏まえて役職員一同努力してまいります。

令和7年元旦

理事長 倉賀野 志郎



法人のホームページでは、各園の園だよりや給食だよりなどを掲載しています。

QRコードからお入りください。



どんぐりの木の下で



昭和どんぐり

当法人が設立認可を受け、昭和どんぐりの家保育園が開園してから25年が経ちました。初代園長が植樹してくれたどんぐりの木は立派な大木になり、夏はたくさんの葉を茂らせ木陰を作り、その下でどろんこやまごともあそびを楽しみ、秋には葉っぱの中にどんぐりの赤ちゃんを見つけて、いつ落ちてくるかなと、どんぐり拾いを待ちわびることもたちです。土を掘り起こせば幼虫やミミズがいて、時間を忘れて虫探しに熱中したり、木の実を集めてまごをしたり・・・。こども時代をこどもらしく五感を使って自然の中でたっぷりあそびこめるような、そんな環境を作りたいという設立時の願いが込められた園庭で、日が暮れるまであそんでいる逞しいどんぐりっ子です。当園を卒園した園児は300人を超えました。卒園児が保育士を目指して実習に来てくれたり、親になり自分のこどももどんぐりに預けたいと入園してくれる家庭もあります。そして、保育士になって、現場で立派に活躍してくれている卒園児もいます。25年の中でたくさんの出会いがあり、それが今につながっていることが嬉しく、改めて、後援会や地域の方々に支えられてここにどんぐり保育園が誕生し、願う保育ができるという事に感謝しています。



羽根つきで 負けて
こんな顔になっちゃった(笑)

さて、新年が明け、保育園ではお正月あそびを行いました。福笑いや羽根つきなど、異年齢で交流しながらたくさん笑って福を呼び込みました。今年もみんなが笑って過ごせますように。そして、これからも、卒園した後もみんなが集える実家のような保育園となれるよう、職員と共に温かい保育を創っていききたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

園長 北構 和代



治水どんぐり

公立保育園から民間移管を受け、2014年4月より治水どんぐりの家保育園が開園しました。当初は、2歳児からの受入でしたが、地域のニーズに合わせ「産休・育休明け園児の受入れ」として、園庭の敷地を利用して園舎の増築工事を行い、2017年10月より「0歳～就学まで」を見通した保育が実現し、新たなスタートをきり、現在、開園11年を迎えました。園児・保護者が安心して通える保育園を目指し、職員と共に協力し合ってきたことで、園児・保護者との繋がりも生まれ「どんぐりの会 親の会」と共催で、毎年恒例行事「秋祭り」を開催し、卒園児さん達も元気な顔を見せてきてくれています。また、治水町内会さんより譲り受けた「お神輿」を年長さんが担いだり、家庭菜園をしている方（トマトのおじさんと呼ばれています）のお宅が子ども達の散歩コースとなり、遊びに行ったら野菜やイチゴなど収穫を楽しませていただき、地域の方との繋がりや交流も深まり、たくさんの方に支えられて今があると実感しています。コロナ禍で様々な制限を強いられ繋がりも途絶えがちになっていましたが、5類に移行してからは、行事のあり方や日々の生活を見直し、少しずつ以前に近づけた形で保育ができるようになり、子どもも大人も交流する中で「繋がりあう」ことを大切にしたいと言う先生たちの思いから「なかよしの日」として、異年齢保育交流（3.4.5歳）を2023年12月より設け、新たな保育の取り組みを始めています。

初めての試みと言うことで、準備の大変さなど色々ありましたが、回を重ねるごとに先生達の考える楽しい遊びに子ども達も「月に一度のお楽しみ」として色んな先生やお友達との交流を通し楽しんでいます。これからも、子ども達の「たのしい〜」がいっぱい聴こえる保育園を目指し、職員と共に頑張っていきたいと思っています。

園長 畠山 真美



なかよしの日 「お菓子のお家製作」



なかよしの日
「メロンパン作り」

